

二河水源地取入口



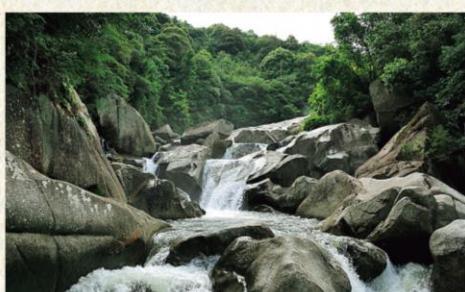
日本遺産 物語の舞台をたずねて 12



呉鎮守府開庁の翌明治23（一八九〇）年、旧海軍は専用水道の給水を開始しました。二河川から取り入れた水を約4km離れた宮原浄水場に送り、浄化した水を海軍構内の各施設に配水する「近代水道」は、横浜、函館に次いで国内で3番目の歴史を誇ります。

市街地近くにある、市の名勝二河峠。その上流にある自然石をくりぬいた取水隧道（トンネル）は、明治21（一八八八）年12月に着工し、明治22（一八八九）年9月に竣工しました。取入口は御影石造で、上部に「呉鎮守府水道」と刻まれた標石が埋め込まれています。丁寧な造りで、127年経った現在も工業用水道の水源として活躍しており、当時の石工の高い技術力をうかがうことができます。

宮原浄水場低区配水池は、明治23（一八九〇）年に築造されました。この配水池は、地下約6mまで掘り下げた上に石を



二河水源地取入口がある二河峠公園一帯は、ハイキングにぴったり。行ってみてくれ！



問 経営企画課 ☎ 03-26-1604

- 二河水源地取入口
[所在地] 荘山田村（二河峠隧道付近）
[アクセス] バス…「上二河町」バス停
下車徒歩25分
車…二河峠公園駐車場（無料）

- 宮原浄水場低区配水池
(上屋の一部の展望のみ)
[所在地] 青山町5-2
[アクセス] バス…「宮原1丁目」バス停
下車徒歩1分
車…駐車場なし

*昭和60（一九八五年）に厚生省（現・厚生労働省）が企画し、日本水道新聞社が主催・選定したもの。

どちらも、日本近代水道の初期の様子を知る上で貴重な施設として、国登録有形文化財に登録されており、近代水道百選にも選ばれています。

積んで造られており、幅37m、長さ44.4m、容量は8000m³。上屋は全て赤レンガ造です。平成25（二〇一三）年3月に新しい配水池が完成するまで123年間使用されました。

▶浄水場内にあるため一般開放はしていません。浄水場外（丸子谷公園）から赤レンガの上屋の一部を展望できます。

宮原浄水場低区配水池

